

女性パトロール 実施報告書

実施日:平成30年10月24日(水)
対象現場:H29荒川戸田市笹目橋上流築堤工事
報告者:TWS 笠原美寿々



作業状況

本日の作業は軽量盛土工のEPSブロック設置(全8段中7段目)を行っていました。EPSとは発泡スチロールのことで、特性として衝撃の吸収性に優れているので、盛土荷重を抑え軟弱地盤の沈下を防ぐ効果があります。また、耐水性に優れていること、軽くて成形がしやすいので作業がしやすい特性も持っています。使用する材料は1m³あたり20kgを1~7段目に使用し、8段目は25kgの材料を使用するそうです。こんなに大きな発泡スチロールでも20kgしかなく、女性2人で持ち上げてみましたが見た目以上に軽くて驚きました。



EPSブロックの設置は、外側のブロックの位置を決めてから内側に配置し、なるべく隙間を作らないようにはめていきます。ブロックを設置する範囲が直線部分とアーチを描いている部分があり、ブロックが四角いので外側のラインが直線であればブロックを垂直に設置することができます。アーチの部分は外側のラインに合わせてブロックを設置すると少しずつ曲がって設置されるので内側になるにつれてブロックの形が変わりやすくなるので作業が難しいとのことでした。

今回は特別に発泡スチロールの切断とブロックを設置する作業をさせて頂きました。

発泡スチロールの切断は、針金を熱を持たせてラインに沿って切断します。針金を当てるだけでスルスルと切れるので針金が曲がってしまうと綺麗に切断できませんでした。針金を張るように保ち、2人の息を合わせて操作することが大切だと感じました。

ブロックの設置は、作業員さんに切断して頂いたブロックをはめ込む箇所の角に合わせ、ブロックが平行になるように少しずつ押しとびたりとブロックがはまりました。ブロックがぴったりはまると気持ちのいい感覚を味わうことができました。また作業員さんの技術感覚にも驚きました。1段の作業が終わるまで4日間程かかるそうで、ブロックを設置する作業の感覚と作業員さん同士の息を合わせながら作業する大切さを感じました。人力での作業なので感覚の違いを知ることができ、作業員さんとの良好な雰囲気も味わうことができました。

安全性

作業が効率よくできるように材料や小道具が作業スペースにたくさんあるので狭く感じました。

危険だと感じたのは、EPSブロックを固定する緊結金具が作業上に置かれていたことです。この金具は、下向きと上向きとがっている部分があります。設置したブロック(1段あたりの高さ50cm前後)の上を上がったり下がったりするので足腰に疲労が溜まり足を踏み外してしまい、金具が身体に刺さる可能性もあります。金具が持ち運びしやすいケース等に入れて管理をすると更に安全性が高まるのではないかと感じました。



緊結金具



今後使用する足場には、注意を促す掲示物がすでに貼られていました。足場に行くまでの通路がなく、傾斜がきついので男性の脚力であれば問題ないと思いますが、女性では砂利が粗いこともあり滑りやすくなっていました。手すりなど掴まれるものがあれば安心して安全に通やすいと感じました。

資機材の周りにはカラーコーンやトラローブを設置していました。材料が多いので作業に必要なものを堤防に置くようにし、資機材の置き場に気を使いながら置くことで整理整頓につながると感じました。



河川の工事現場の近くには公衆トイレやコンビニがあまりないので、現場に女性用トイレがあるとほっとします。また綺麗なイメージがあるので入りやすいです。



現場を普段から意識して綺麗されていると感じましたが、事務所や休憩所をあまり使用されていないような雰囲気にも感じました。これから寒くなるので休憩所は風除けができるようなスペースを確保したり、カイロが置いてあると嬉しいのではないのでしょうか。また作業員さんに知らせたい情報(健康に関すること、気を付けて作業してほしいこと)などを掲示するなど一工夫必要なのではないかと感じました。

この時期は、お昼頃は暖かいです。早朝と、夕方かなり冷えるので体調管理には充分気を付けて引き続き作業をしてほしいです。

女性パトロール報告書

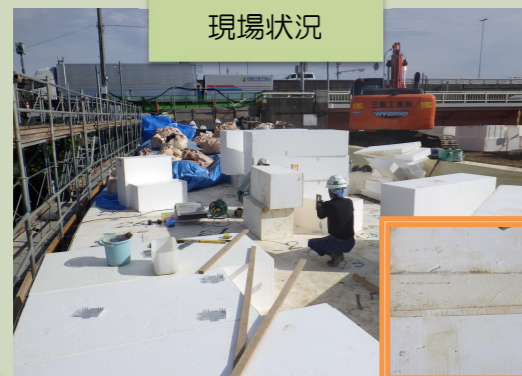
現場名：H29荒川戸田市笹目橋上流築堤工事 実施日：平成30年10月26日
 現場職員：鈴木和重・中山雄大・小林伸太郎 実施者：笠原美寿々・柳里奈・小柴亜柚美 報告者：小柴

作業説明



今回はH29荒川戸田市笹目橋上流築堤工事という現場のパトロールを行いました。作業所で作業の説明を受けてから、実際に現場に行きました。現場では、軽量盛土工でEPSブロックの設置を行っていました。現場の外側が曲線を描くような設計になっているので、下の写真の発泡スチロールをそのまま置いていくと隙間ができ、その隙間に合った大きさに発泡スチロールを加工し、隙間を埋めていく作業がありました。作業員さん達の手際が良く、ちょうどいい大きさを作成してはこつこつと埋めていましたが、時間のかかる作業だと思いました。

現場状況



現場での安全管理を確認しました。足場の注意喚起の張り紙等、掲示物がすぐ目に入りやすいところに貼ってあったので、見落としなく安全な作業ができました。

安全掲示板の設置



高さ制限装置の設置



注意旗の設置



資材の整理



作業足場の設置



注意喚起の貼紙



快適トイレの設置



現場に快適トイレが設置されていました。入口の目隠しにはリーフフェンスを使用し、景観が保護されていました。女性用トイレは男性用との距離を離す配慮がされていたのですが、女性用トイレと男性用トイレの入り口が同じだったのが気になりました。女性は男性側とは逆から入るようになっていれば、男性の目を気にせず使用できるようになると思いました。

パトロール当日は10月後半でしたが、日中はまだまだ暑く、すこし動くだけで汗をかくような気候でした。作業現場に日陰がありませんでしたが、現場近くに休憩スペースがあり、日よけにはすだれが利用されていて快適な空間が作り出されていました。清潔感がありますが、物寂しさも感じましたので、花壇を置いたり、時期が過ぎてしまいましたが夏でしたら風鈴をぶら下げたりと、休憩所として気持ちもリラックスできる空間が作られていると良いなと思いました。

休憩スペース



↑【女性が働きやすい職場環境改善プロジェクト】の掲示がされていました。

最後に

工事現場といえば堅苦しいイメージがありましたが、今回の現場はリーフフェンスやすだれなど、自然環境に合ったものを使用している為、周りの景色との調和が取れており、さわやかな気持ちになりました。職員と作業員さんの関係が良好であるため、全体的に現場の雰囲気もよく作業のしやすい環境づくりがされていると感じました。現場で使用する材料や作業内容で分からない箇所がありましたが、施工手順を一から説明して下さったりと、お忙しいなか丁寧に対応していただきました。昼夜の気候の変化が激しい季節ですので、体調管理には十分気をつけて作業していただきたいです。